

ごあいさつ

理事長

山下俊彦



皆さまには、平素より新潟県信用組合（略称：けんしん）をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまから当組合に対するご理解を一層深めていただきますよう、ディスクロージャー誌「けんしんの現況2011」を作成いたしました。経営方針や最近の財務状況、業績などをできるだけわかりやすくご説明させていただくことを心がけましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成22年度の県内経済は、年度の後半には、エコカー補助金制度、家電エコポイント制度などの政策効果が薄れてきたことに加え、急速な円高の進行、海外経済の減速などを背景として、改善の動きに一服感が見られる状況となりました。さらに、3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響により、企業の景況感が急速に悪化し、自動車・半導体など多くの業種において生産活動が急速に低下いたしました。

このような環境の下、当組合は「第14次中期経営計画（21～22年度）」の締め括りの年であり、「融資への集中」をテーマに掲げ、県内一円に業務を展開する「広域型信用組合」という特質を生かし、本業である融資業務を通じて安定した収益を確保することを目指して取組んでまいりました。併せて、お客さまの多様化するオーダーにお応えするため、新たな金融商品・サービスの提供とともに、お客さまからのご要望・ご相談等に対して積極的な対応を行ってまいりました。

また、環境保護への取組みについては、プレミアム金利付定期預金「緑百年物語」の取扱いを通じ、県の緑化事業への協力を推進してまいりました。

本年4月より「第15次中期経営計画（23～24年度）」をスタートさせ、引続き「融資への集中」というテーマに取組むことといたしました。本計画におきましては、個々の経営課題を今まで以上に力強く推し進め、「収益力」、「安定力」、「人材力」の向上を図り、最終的には地域における当組合の「存在力」向上を目指してまいります。これらの取組みにより経営基盤を強化し、地域社会の発展に貢献していきたいと考えております。

“地元を見つめ、地元とともに”61年を刻んだ当組合が、今後さらに皆さまから親しまれ信頼される金融機関としてお役に立てますよう、役職員一同全力をあげて邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年7月